



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
令和5年度学校だよりNo.16
令和6年1月18日
会津美里町立宮川小学校長 伊達明美

学校教育目標 自ら学び心豊かで たくましく生きる子どもの育成
○進んで学ぶ子 ○思いやりがある子 ○たくましい子

みんな やさしく かたり合おう わくわくしよう チーム宮川

2024年も子ども達のたしかな成長に向けた教育活動を推進します よろしくお願ひします

第3学期始業式をむかえ、宮川小学校2024年が始まりました。始業式では、冒頭に令和5年度に行われる「式」はあと第3学期終業式と修了式・卒業証書授与式だけとなったことを告げ、51日間で本年度も終了となること伝えました。一日一日の学校生活では、**自己の目標達成に向けた努力と毎日の学習**にがんばってみましょうと話をしました。

3学期は短い学期であるため、より焦点をしぼって、がんばることを明確に持たせることが必要だと考えます。また、短いということは「やりぬく」ことには適しており、子どもに達成感を育むことができます。「これ!」とはっきりと今がんばりたいことを示しました。**「3学期は学習!」**宮川小学校全学級の重点としたいと考えます。どの学級も、友達も、みんな学習をがんばろうとする雰囲気学校全体を高めていきます。(12月に実施した学校評価の結果を生かした、3学期指導の重点を文書でお知らせしておりますので、ご覧いただきますようお願いいたします。)



3学期は 学習!!

自分が「できる」を実感させたい。

「もっとできる」「もっとできる」と高めていきたい。

本年度の学校教育もまとめの3学期となります。児童を見ていますと、「優しい児童」が多いです。そして、「素直な児童」も多いです。私は、優しさや素直さの手本を示しているのは6年生だと考えます。6年生の姿は、どの学校でも、どの年も、学校全体の姿となるものです。今年の宮川小学校の児童像は6年生が築いてくれました。先日も、放課後校庭で遊んでいた6年生が全員で職員室へ声をかけてきました。野球をやっていたボールがファールになり、ネットを超えてしまって「すみませんでした」と言う子ども達へ、担任は「正直に話ができるのは立派なことだ」と話していました。誰かのせいにするのではなく、全員で。誰も見ていないだろうではなく、自分達から。担任が言うように、立派に人としての成長を見せていると思いました。うれしくなりました。6年生、そして全校児童に心の成長を感じております。

そのような中で、児童の成長に向けた今学期の重点としたのは「学力の向上」です。**「3学期は学習!」**を学校全体でめざします。私は、2学期の終わりから、3学期始業式と「学習の大切さ」について話をしています。教職員へも話をしています。少し家庭での学習課題も増えます。保護者の皆様にもできれば同じ言葉かけをお願いしたいです。**「3学期は学習!」**毎日の学習を今までよりも大切に、真剣に、集中することを3学期はやりぬかせたいです。ねばり強く、がまん強く、やりぬくことができるように指導していきます。児童が意欲をもって取り組めるよう

工夫します。1月末の学力テスト（全学年）、2月末の学年末テスト（全学年）、3月の各種テスト結果に基づく学習（全学年）。令和6年度はじめの全国学力・学習状況調査やふくしま学力調査に向けた学習（3～6年）。3学期は、学習への意識を高めて、意識した学習をやり通せば、自分が「できる」を実感するチャンスがあります。「できる」という自信は、次年度「もっと」につながります。3学期の「短さ」を活かして、学習をやり通させたいと考えています。

3学期始業式のあと、4年生の多くが、休み時間も「もっと勉強をします」と励んでいたということでした。宮川小学校の児童の素直さは、大いに個々を伸ばしていきたく可能性をもっています。児童を励まし、指導してまいります。

かたり合おう：『協働的な学び』のある授業のために



他者と協働をするときに大切な態度・能力は「聞くこと」です。これは学びに限ることではなく、社会生活に通ずることとして私達大人であれば納得するところです。昔から「聞き上手」をよしとされてきました。発言権をもつリーダーとしての資質も「聞くこと」ができることです。『協働的な学び』のための基本的な態度・能力として「聞くこと」を重視していますが、『協働的な学び』によってめざす人間像もまた「聞くこと」ができる人となります。12日（金）に2年生が生活科でマルシェを行いました。互いに『聞き合っている』姿や先生の話『しっかりと聞き取っている』姿が見られました。



17日(水)避難訓練を行いました

「日頃から」学校生活では…家庭では… こんな時はどうするか

こんな時にはどうするか、「知っていて」「できるようにしておく」ことが重要だと考えます。今回の避難訓練は、これまで以上に真剣に取り組む児童の姿がありました。全校児童が1月1日に発生した石川県・能登半島地震のことを知っています。そして、元日の夕方に大きく揺れを感じたことが心に残っていると話をします。児童には、13年前に福島県でも同じような大きな地震と大きな津波があったことを改めて伝えました。日頃から、命を守る行動について考えておくことが大切だと話をしました。学校での訓練は、たいへん重要と考えています。児童の安全のため、万が一に備える姿勢は、決して緩まずに徹していきます。ご家庭でも、無い方がよい万が一ではありますが、「地震があったときは」「〇〇があったときは」と子どもも家族の一員として、お話をされることも大切かと考えます。



一次避難場所への避難の後、二次避難を訓練しました。

子どもと親の相談員 心に寄り添い 共に考えます

渡部 路加（ろか）が勤務します。毎週月曜日・金曜日に朝8時10分から15時55分まで、相談や児童の学校生活（学習）への適応援助を行います。保護者の皆様も、お困りのことや悩まれていることがある場合には、お話されてみませんか。相談員は、皆様の心に寄り添います。お気持ちを共有し、ご希望があれば、担任や学校の教職員、スクールカウンセラーや専門機関との面談の調整も行います。反対に、「他へ話をしてほしいくない」場合や秘密にしてほしい場合も厳守します。まずは、お話をされてみませんか。担任や教頭までお電話等でお知らせ願います。